

☆地震の知識

地球の表層は、十数枚のプレート（板状の固い岩石の層）に覆われており、プレートの境界では、海のプレートが陸地のプレートの下に沈み込んでおり、その溝を海溝（トラフ）という。

① 海溝型地震

海のプレートが海溝で沈み込むときに陸地のプレートの端が巻き込まれていき、それが反発して跳ね返る際に巨大な地震が発生する。

この跳ね上がりにより起こされる地震を海溝型地震という。

代表的な例が、相模トラフに震源を持つ、1923年の関東大地震。

今後、100年から200年先に発生する可能性が高いとされている。

また、駿河トラフを震源とする「東海地震」について、予知体制が整えられている。

② 直下地震

海のプレートの動きは、海溝型地震の原因となるだけでなく陸のプレートを圧迫し、内陸部の岩盤にも歪みを生じさせる。歪みが大きくなると、内陸部の地中にあるプレート内部の弱い部分で破壊が生じ、地震が発生する。

海溝型地震に比べ、規模は小さいが、局地的に激震を発生させる。

東京直下地震の代表例として、荒川河口直下に起きた1855年の安政江戸地震がある。

③ マグニチュード

地震のエネルギー規模を表す単位。

マグニチュードが0.2大きくなると地震のエネルギー規模は約2倍になる。

関東大地震 M7.9 兵庫県南部地震 M7.2

④ 震度

地震の際の各地点の揺れの強さを表す。

計測震度計により測定され、10階級で表される。